

**令和元年度  
第 1 回滝沢市国民健康保険  
運営協議会  
審議案件説明書**

**滝沢市国民健康保険**

## 平成30年度滝沢市国民健康保険特別会計決算について

### 1 歳入歳出決算の概要

平成30年度滝沢市国民健康保険特別会計の歳入歳出決算の状況は、歳入が49億7,210万6,408円、歳出が49億2,650万8,005円であります。

歳入から歳出を差し引いた歳入歳出差引額は4,559万8,403円で、前年度に比べると2億2,475万7,659円（83.1%）減少しました。

歳入歳出差引額から、予算調整を行った残額4,218万2,000円を財政調整基金に積み立てる予定です。

基金繰入金や繰越金、基金積立金を除いた実質収支額（単年度収支）は2,999万5,659円の赤字となり、前年度に比べると1億6,091万530円（-122.9%）減少しました。

#### 歳入歳出決算の概要

区分	平成30年度 A	平成29年度 B	比較増減	
			A-B=C	C/B
歳入決算額 a	4,972,106,408	6,178,640,950	△ 1,206,534,542	-19.5%
歳出決算額 b	4,926,508,005	5,908,284,888	△ 981,776,883	-16.6%
歳入歳出差引額 a-b=c	45,598,403	270,356,062	△ 224,757,659	-83.1%
基金繰入金	26,324,000	66,324,000	△ 40,000,000	-60.3%
繰越金	270,356,062	283,099,191	△ 12,743,129	-4.5%
基金積立金	△ 221,086,000	△ 209,982,000	△ 11,104,000	5.3%
小計 d	75,594,062	139,441,191	△ 63,847,129	-45.8%
実質収支額 c-d	△ 29,995,659	130,914,871	△ 160,910,530	-122.9%

#### ・今後の国保運営

歳出では、保険給付費のうち療養給付費は、平成28年度以降続いている診療報酬と薬価のマイナス改訂や高額薬剤の引き下げの影響が大きく、対前年比で4.3%減となり、3年連続で前年度割れとなりました。また、全国平均でも対前年比で2.9%減となり、3年連続で前年度割れとなっております。

歳入では、県から国民健康保険事業費納付金が毎月交付されることで、特別会計の資金運用に余裕ができ、結果として事業財政調整基金からの一時借り入れが減少しました。

一方、実質収支額が赤字になったということは、本来見込むべき国民健康保険税が足りていないことになります。

現在は、財政調整基金の残額が8億円を超えていることもあり、直ちに国民健康保険税の税率を引き上げる状況にありませんが、今後どこかの段階で税率の引き上げの検討が必要になってきます。

## 2 歳入決算の概況

平成30年度国民健康保険特別会計の歳入決算の状況は、予算現額 49 億 5,596 万 5,000 円、調定額 50 億 9,943 万 3,010 円、収入済額 49 億 7,210 万 6,408 円、不納欠損額 1,045 万 3,759 円、還付未済額 128 万 2,900 円、収入未済額 1 億 1,815 万 5,743 円であります。

- ・収入済額 49 億 7,210 万 6,408 円は、前年度より 12 億 653 万 4,542 円（-19.5%）減少しました。
- ・不納欠損額 1,045 万 3,759 円は、前年度より 30 万 279 円（3.0%）増加しました。
- ・収入未済額 1 億 1,815 万 5,743 円は、前年度より 3,138 万 8,543 円（-21.07%）減少しました。
- ・予算現額に対する収入済額の割合は 100.3%で、前年度を 1.9 ポイント下回りました。
- ・調定額に対する収入率 97.5%は、前年度と同じになりました。

### 歳入決算の概況

区分	平成 30 年度 A	平成 29 年度 B	比較増減	
			A-B=C	C/B
予算現額 a	4,955,965,000	6,046,194,000	△ 1,090,229,000	-18.0%
調定額 b	5,099,433,010	6,337,086,258	△ 1,237,653,248	-19.5%
収入済額 c	4,972,106,408	6,178,640,950	△ 1,206,534,542	-19.5%
不納欠損額 d	10,453,759	10,153,480	300,279	3.0%
還付未済額 e	1,282,900	1,262,458	20,442	1.6%
収入未済額 b-c-d+e	118,155,743	149,554,286	△ 31,398,543	-21.0%
予算現額に対する収入率 c/a	100.3%	102.2%	-1.9%	-1.8%
調定額に対する収入率 c/b	97.5%	97.5%	0.0%	0.0%

### 収入済額 c 内訳

区分	平成 30 年度 A	平成 29 年度 B	比較増減	
			A-B=C	C/B
国民健康保険税	960,683,498	981,252,228	△ 20,568,730	-2.1%
使用料及び手数料	691,780	756,002	△ 64,222	-8.5%
国庫支出金	163,000	1,170,956,469	△ 1,170,793,469	-100.0%
県支出金	3,342,949,422	320,356,576	3,022,592,846	943.5%
財産収入	82,917	111,990	△ 29,073	-26.0%
保険基盤安定繰入金	262,271,259	258,850,199	3,421,060	1.3%
職員給与費等繰入金	78,315,804	78,540,200	△ 224,396	-0.3%
出産育児一時金繰入金	6,800,000	12,320,000	△ 5,520,000	-44.8%
諸収入	23,468,666	39,363,893	△ 15,895,227	-40.4%
基金繰入金	26,324,000	66,324,000	△ 40,000,000	-60.3%
繰越金	270,356,062	283,099,191	△ 12,743,129	-4.5%
療養給付費等交付金	0	107,748,000	△ 107,748,000	-100.0%
前期高齢者交付金	0	1,705,708,344	△ 1,705,708,344	-100.0%
高額医療費共同事業交付金	0	121,899,200	△ 121,899,200	-100.0%
財政共同安定化事業交付金	0	1,031,354,658	△ 1,031,354,658	-100.0%
合計＝収入済額 c	4,972,106,408	6,178,640,950	△ 1,206,534,542	-19.5%

### 3 歳出決算の概況

平成30年度国民健康保険特別会計の歳出決算の状況は、予算現額 49 億 5,596 万 5,000 円、支出済額 49 億 2,650 万 8,005 円、不用額 2,945 万 6,995 円であります。

- ・支出済額 49 億 2,650 万 8,005 円は、前年度より 9 億 8,177 万 6,883 円（-16.6%）減少しました。
- ・不用額 2,945 万 6,995 円は、前年度より 1 億 845 万 2,117 円（-78.6%）減少しました。
- ・予算現額に対する執行率 99.4%は、前年度より 1.7 ポイント上回りました。

#### 歳出決算の概況

区分	平成 30 年度 A	平成 29 年度 B	比較増減	
			A-B=C	C/B
予算現額 a	4,955,965,000	6,046,194,000	△ 1,090,229,000	-18.0%
支出済額 b	4,926,508,005	5,908,284,888	△ 981,776,883	-16.6%
不用額 a-b	29,456,995	137,909,112	△ 108,452,117	-78.6%
予算現額に対する執行率 b/a	99.4%	97.7%	1.7%	1.7%

#### 支出済額 b 内訳

区分	平成 30 年度 A	平成 30 年度 A	比較増減	
			A-B=C	C/B
総務費	85,041,212	85,147,202	△ 105,990	-0.1%
保険給付費	3,244,862,484	3,414,265,667	△ 169,403,183	-5.0%
国民健康保険事業費納付金	1,263,797,606	0		
その他共同事業拠出金	931	1,169	△ 238	-20.4%
特定健康診査等事業費	42,226,044	42,632,310	△ 406,266	-1.0%
保健事業費	16,515,727	16,449,222	66,505	0.4%
諸支出金	52,975,700	78,496,325	△ 25,520,625	-32.5%
公債費	2,301	42,575	△ 40,274	-94.6%
基金等積立金	221,086,000	209,982,000	11,104,000	5.3%
後期高齢者支援金等		587,662,628	△ 587,662,628	-100.0%
前期高齢者納付金等		2,161,545	△ 2,161,545	-100.0%
老人保健拠出金		10,109	△ 10,109	-100.0%
介護納付金		214,913,461	△ 214,913,461	-100.0%
高額医療費共同事業拠出金		148,550,304	△ 148,550,304	-100.0%
財政共同安定化事業拠出金		1,107,970,371	△ 1,107,970,371	-100.0%
合計＝支出済額 b	4,926,508,005	5,908,284,888	△ 981,776,883	-16.6%

## 平成３０年度滝沢市国民健康保険特別会計・歳入決算説明書

(※金額は、千円未満を省略して説明しています。)

**１款：国民健康保険税**

- ・決算額は９億６千６万８千円で、対前年比では２千５万６千円の減。
- ・一般被保険者分の決算額は９億５千４万７千１百６千円、対前年比では４万４千５百円の減。
- ・退職被保険者分の決算額は５億９千６万７千円で、対前年比では１千６万５千２百円の減。
- ・退職者医療制度は、後期高齢者医療制度の開始により令和２年３月での廃止が決定され、新規加入者がなくなり、被保険者減少が続いている。
- ・退職被保険者資格が喪失した後は一般被保険者に移行するが、３０年度は一般分、退職分ともに減額となっている。
- ・国保全体では被保険者の微減傾向のため、総額で減となった。

**２款：使用料及び手数料**

- ・決算額は６万９千１百円で、対前年比では６万４千円の減。
- ・証明手数料３００円以外は、全額督促手数料。

**３款：国庫支出金**

- ・決算額は１万６千３百円で、対前年比では２万４千３百円の減。災害臨時特例補助金のみ該当。
- ・平成３０年度の広域化に伴い、国庫支出金のうち療養給付費等負担金及び財政調整交付金は市町村ではなく県に交付されることになったため、２９年度に交付されていた療養給付費等負担金及び財政調整交付金も含めると、対前年比では１億７千７万９千３百円の減である。

**４款：県支出金**

- ・決算額は３億３千４万２千９百４千円で、平成３０年度の広域化に伴い、保険給付費等交付金が新規で交付された。内訳は１項１目１節の普通交付金（保険給付費の給付分に相当）が３億２千１万５千９百５千円、１項１目２節の特別交付金（特別調整交付金に相当）が１億２千６万９千９百４千円。
- ・平成３０年度の広域化に伴い、国庫支出金分と合わせて交付されたため、県支出金全体で見ると対前年比では３億２千２万５千９百２千円の増である。

**５款：財産収入**

- ・決算額は８万２千円で、対前年比では２万９千円の減。
- ・財政調整基金積立金の預金利子。

## 6 款：繰入金

- ・決算額は3億7千371万1千円で、対前年比では4千232万3千円の減。
- ・1項1目一般会計繰入金の決算額は3億4千738万7千円、対前年比では232万3千円の減。これは1節の保険基盤安定繰入金（保険料軽減分）が1億6千929万6千円で、対前年比では250万7千円の増。2節の保険基盤安定繰入金（保険者支援分）が9千297万5千円で、対前年比では91万3千円の増。3節の職員給与費等繰入金が7千831万5千円で、対前年比では22万4千円の減。4節の出産育児一時金繰入金が680万円で、対前年比では552万円の減、支払件数の減による減額のため。
- ・2項1目の基金繰入金の決算額は2千632万4千円、対前年比では4千万円の減。

## 7 款：繰越金

- ・決算額は2億7千35万6千円で、対前年比では1千274万3千円の減。
- ・1項1目1節の療養給付費交付金繰越金は、平成29年度の4款の療養給付費交付金を精算した結果超過交付となり、返還となったため664万7千円となっている。
- ・1項1目2節のその他繰越金は、そのほとんどを基金に積み立てた。

## 8 款：諸収入

- ・決算額は2千346万8千円で、対前年比では1千589万5千円の減。
- ・1項1目の延滞金の決算額は2千197万2千円、対前年比では118万4千円の増。
- ・3項1目の一般被保険者第三者納付金の決算額は69万円で、対前年比では557万1千円の減。
- ・3項3目の一般被保険者返納金の決算額は80万5千円、対前年比では117万5千円の減。これは資格喪失後の受診により、本来市が負担すべきではない給付を本人へ請求し返納された分です。  
なお、廃業した歯科医院に係る医療費返還金などの未収金が152万4千円発生しています。

## 平成３０年度滝沢市国民健康保険特別会計・歳出決算説明書

(※金額は、千円未満を省略して説明しています。)

**１款：総務費**

- ・決算額は８千５０４万１千円で、対前年比では１０万５千円の減。

**２款：保険給付費**

- ・決算額は３２億４千４８６万２千円で、対前年比では１億６千９４０万３千円の減。
- ・１項の療養給付費の決算額は２８億５千６６１万９千円で、対前年比では１億２千８８８万９千円の減。診療報酬と薬価改定により大幅な医療費削減となり、およそ２千万円の予算残となった。
- ・２項の高額療養費の決算額は３億７千７９５万８千円で、対前年比では３千１２３万７千円の減。高額薬価の引き下げや、平成２９年８月及び平成３０年８月に７０歳以上７５歳未満の一般所得者の外来自己負担限度額が段階的に引き上げられたことにより高額療養費も減少している。１目の一般被保険者高額療養費の決算額は３億７千３５６万１千円で、対前年比で２千５９５万７千円の減、２目の退職被保険者等高額療養費が４３５万９千円で、対前年比で５１８万３千円の減。
- ・４項の出産育児諸費の決算額は８４２万３千円で、対前年比では９１５万６千円の減。支払件数は２０件で前年度より２２件減少している。
- ・５項の葬祭費の決算額は１８６万円で、対前年比では１２万円の減。支払件数は６２件で、前年度より４件減少している。

**３款：国民健康保険事業費納付金**

- ・決算額は１２億６千３７９万７千円で、平成３０年度の広域化に伴い県に支出することになった。
- ・県は、国の示した確定係数により県内国保の医療費推計を行い、①医療費指数、②所得係数などにより各市町村国保の負担分として事業費納付金を割り振りし、市町村国保は割り振りされた事業費納付金を県に支払った。

**４款：共同事業拠出金**

- ・決算額は９３１円で、対前年比では２３８円の減。国保連に支払う共同事業拠出金のみ該当。
- ・平成３０年度の広域化により、高額医療費共同事業拠出金及び保険財政共同安定化事業拠出金が廃止されたため、共同事業拠出金全体で見ると対前年比で１２億５千６５２万円の減。

**５款：保健事業費**

- ・決算額は５千８７４万１千円で、対前年比では３３万９千円の減。
- ・１項２目の疾病予防費の決算額は１千３０３万７千円で、対前年比では４９万３千円の増。人間ドックの受診者数は３７８人で対前年比で２３人の増、若年者健診の受診者は１５６人で対前年比で４１人の増のため増額となった。
- ・２項１目の特定健康診査等事業費の決算額は４千２２２万６千円で、対前年比では４０万６千円の減。特定健診の受診数は４，０４７人で、対前年比で４２３人の増である。

#### 6 款：基金積立金

- ・決算額は2億2千108万6千円で、対前年比では1千110万4千円の増。
- ・現在の基金積立額は8億7千475万9千円です。

#### 7 款：公債費

- ・決算額は2千円で、対前年比では4万円の減。
- ・これまでは一般会計と他会計の財布がひとつで管理されていたことから、資金不足の一時借入金を一般会計で行っていたが、平成28年度から資金不足の一時借入金はそれぞれの会計毎に行うことになった。

#### 8 款：諸支出金

- ・決算額は5千297万5千円で、対前年比では2千552万円の減。
- ・1項5目から1項8目は前年度の交付金や補助金の精算返還金です。決算額は4千664万6千円で、対前年比では2千625万6千円の減です。1項5目の療養給付費等負担金償還金の決算額は3千936万6千円で、対前年比では3千78万1千円の減。1項6目の療養給付費等交付金償還金の決算額は664万7千円で、対前年比では389万8千円の増です。
- ・2項1目の一般会計繰出金の決算額は274万円で、対前年比では19万円の増。一般会計繰出金は前年度の一般会計繰入金の精算返還金です。



【資料１０－１】

令和元年度滝沢市国民健康保険特別会計・歳入補正予算説明書

１ 第１号補正（６月補正） ４００万２千円の増額補正

６款：繰入金

・補正額は４００万２千円の増。人事異動に伴う人件費に係る職員給与費繰入金の増額です。

２ 第２号補正（９月補正） ４千６５７万８千円の増額補正

６款：繰入金

・補正額は９８万１千円の増。職員人件費補正に係る職員給与費繰入金の増額です。

７款：繰越金

・補正額は４千５５９万７千円の増。平成３０年度決算に係る繰越金です。

【資料１１－１】

令和元年度滝沢市国民健康保険特別会計・歳出補正予算説明書

１ 第１号補正（６月補正） ４００万２千円の増額補正

１款：総務費

・補正額は４００万２千円の増。人事異動に伴う人件費の増額です。

２ 第２号補正（９月補正） ４千６５７万８千円の増額補正

１款：総務費

・補正額は９８万１千円の増。人件費（時間外手当）の増額です。

６款：基金積立金

・補正額は４千２１８万１千円の増。平成３０年度決算に係る繰越金のうち交付金の返還金などを差し引いた本金額を基金に積み立てるものです。

・現在の基金積立額は８億７千４７５万９千円ですが、今年の当初予算において９千３４５万２千円を取り崩すことにしており、その後本金額の積立を行うことから来年の５月末の基金残額は８億２千３４８万８千円になる見込みです。

８款：諸支出金

・補正額は３４１万６千円の増。

・１項の償還金の補正額は４４万９千円の増。内訳は、県への特別交付金（保健事業分）返還金です。

・２項１目の一般会計繰出金の補正額は２９６万７千円の増。内訳は、職員給与費等繰入金返還金が１７８万円、出産育児一時金繰入金返還金が１１８万６千円です。